



# あさひ台

学 校 報  
第 5 1 0 号  
R5. 5. 26  
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子  
～ つなぐ ひらく つくる ～

## 行事等で子どもを育てる

5月2日（火）、全校縦割り班活動、ウォークラリーを行いました。終わりの会で、私は子どもたちにこの活動のねらいを話しました。

子どもたちは、早く問題を見つけることや、クイズの答えが合っているかどうか気にとられがちですが、この活動のねらいは「よりよい人間関係を形成する」「集団の一員として役割を果たす」ということです。活動後ではありましたが、改めて子どもたちとねらいを共有することで、目指す力を身に付けたいと考えました。

活動中は時々メンバーが離れてしまう班もありましたが、すべての班が無事ゴールすることができました。「力を合わせて活動する」「自分の役割をしっかりと果たす」というめあてを達成することができていました。

役割を果たすことについては、特に6年生のがんばりが光りました。班の全員が安全に活動できるように、前日に打合せやコースの下見をしていました。その入念な準備のおかげで、全校児童が活動を楽しむことができました。



明日は運動会。順位や勝ち負けが気になるのは当然です。しかし、運動会のねらいは、「規律ある行動ができる」「最後までやり抜く」「責任ある行動をとる」「友達と助け合う」などです。ねらいの達成度とともに取組の過程も重要です。職員と子どもと保護者とでねらいを共有し、子どもたちを育てていきたいと思えます。

## 子どもの一言に感動した1日…

「校長先生、今日はよろしくお願ひします。」登校してきた3年生が、「おはようございます」よりも先に発した言葉です。その日は校外学習があり、私も同行することになっていたのです。その一言に、私はとても幸せな気持ちになりました。

その日は外で活動した子どもが多く、玄関が土で汚れていたため、下校時に玄関を掃きながら子どもたちを見送っていました。すると複数の3年生から、「今日はありがとうございました。」という言葉がもらいました。また、高学年の女子が「校長先生、掃除をありがとうございました。」と声をかけてくれました。実に自然な一言に驚くとともに、「さすが五小っ子！」と、誇らかな気持ちになりました。

「あなたたちの『ありがとう』の言葉に、ありがとう！」わたしはそう答えました。

(校長 島崎 徳之)